

# 「今更聞けないビジネス常識：ちょ～かんたん！貸借対照表のポイント」

第3回購買ネットワーク会オンライン講演会のご講演は「非常にわかりやすかった」と大好評でございました。加えて、ご出席者とのQ&Aも深い内容でございました。そこで運営側で整理を試みてみました。見落としているところ、うまくまとめられていないところもあるかと思いますが、出席いただいた皆様のお役に立てば幸いです。

## ご講演内容

### 1. 貸借対照表は“顔”で見る

貸借対照表(B/S)の分析は、まず概観でビジュアルとして把握すると判りやすいとのこと指摘は斬新で、出席者の皆さんも「これは判りやすいと大好評でした。とくに「右肩上がり」、「右肩下がり」は講演中のチャットでも絶賛されていました。

#### 右肩下がり 悪い



#### 右肩上がり 良い

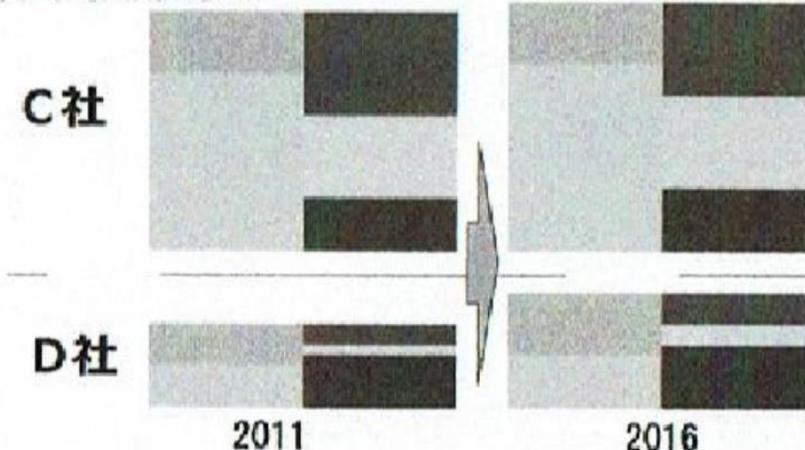


※貸借対照表の“顔”を見るための「簡易診断ツール」で、事例を作成してみました

### 2. 時系列の変化で見る

それとともに何度も繰り返していただき、印象に残ったのが単一時点ではなく、時系列の変化で見るという点でした。

#### 投資するならどっち？



※ご講演のハンズアウト資料から抜粋

- 面積(大きさ)で会社の規模を見る(総資産)
- 左右の対比で会社の健全性を見る(固定比率/流動比率)
- 短期的な支払い能力を見る(当座比率)

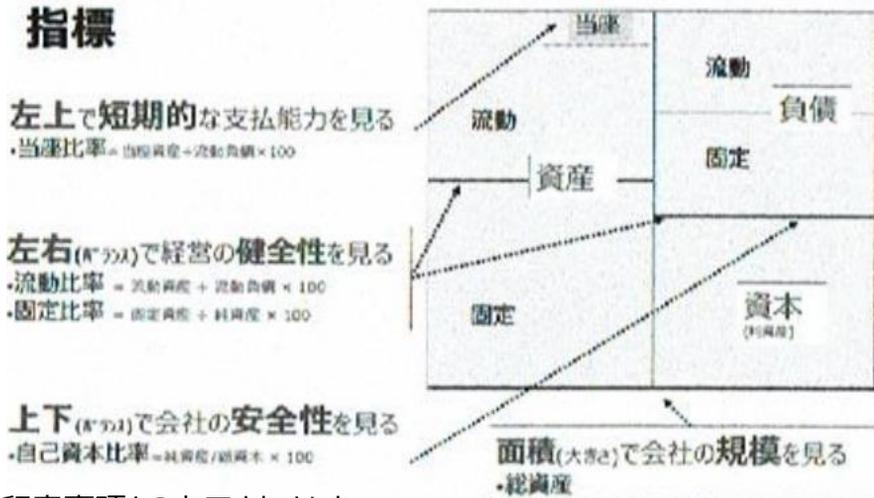
## 第3回購買ネットワーク会オンライン講演会(2020年5月25日)

# 「今更聞けないビジネス常識：ちょ～かんたん！貸借対照表のポイント」

### ご講演内容(続き)

### 3.まとめ ※以降の図はご講演のハンズアウト資料から抜粋

そして最後に、ご講演の要点をまとめた図が提示されました。まず3つの観点の説明です。



加えて、留意事項も3点示されました。

### 留意事項



さらに、粉飾ではないけれど、貸借対照表を「ごまかす」テクニックもあるのでとの注意点の提示でした。

### 駆使されるテクニック (※粉飾ではない)

個人資産との公私混同コンタミ (オーナー会社)

資本関係での混乱 (親子・兄弟会社間)

資産管理会社・トンネル会社の存在 (カモフラ)

## 第3回購買ネットワーク会オンライン講演会(2020年5月25日)

### 「今更聞けないビジネス常識：ちょ～かんたん！貸借対照表のポイント」

---

#### Q&A

ご講演の後に、Q&Aで、講演者のお考えのさらなる深堀とともに、知見がご豊富な参加者の発言を伺えました。主要なものを以下に抜き出してみました。

- 時系列でみる場合、どのくらいの期間を見ればよいのでしょうか
  - 3～5年(少なくとも3年)分を横並び比較してみるべきと考えます。
  - 変化点があったら、そこで何があったかを分析することが重要です。
- 国内の情報ソースとして、東京商工リサーチと帝国データバンク(ここはB/Sの図が掲載されている)のレポートがあるご紹介いただきましたが、海外分の情報ソースはご存じですか
  - Duns & Bradstreet社のレポートが使えると思います
  - また中国企業は、企業情報(中国商務局など)がネット検索で得られることもあります
  - 日本貿易振興会(JETRO)で調べるのも1つの方法です
- 国内の情報ソースの追加としてチャットでご紹介いただいたのが以下。
  - 国立国会図書館での調べ方：  
[https://rnavi.ndl.go.jp/research\\_guide/entry/post-207.php](https://rnavi.ndl.go.jp/research_guide/entry/post-207.php)
  - 民間サービス(無料) <http://www.ullet.com>
  - アラーム管理システム Alarm3000:<http://alox.jp/product/alarm.html>  
(3年分の決算データを突っ込んで解析させると、粉飾傾向があるポイントを言葉で示してくれます。)
  - JETROのビジネスライブラリーもよいです：  
[https://www.jetro.go.jp/db\\_corner.html](https://www.jetro.go.jp/db_corner.html)
- 直近の支払が厳しい(今一番は、業種によるが、家賃の支払いではないか)などは、貸借対照表にはなかなか表れてこない。
  - その現金を準備できるかの有無は貸借対照表(B/S)だけでは厳しいところがある(ある程度は“顔”で判るが)。稼ぐ力を表す損益計算書(P/L)などともに見る必要があります。
  - 貸借対照表(B/S)は「ある時点での体力を知るもの」ですが、体力がどこまで続くかは損益計算書(P/L)も見ていくかねばなりません。
  - 貸借対照表(B/S)でわかるのは生活習慣病の状況ようなものなので、突然死のリスクは別途注意しなければいけません。

「今更聞けないビジネス常識：ちょ〜かんたん！貸借対照表のポイント」

---

## Q&A(続き)

- 貸借対照表(B/S)を見る上での「健全性・安全性・規模・短期的な支払能力」の4つの留意事項に加えて、会計ルールが変更されていないかにも気を付ける必要があります、制度の継続性が途切れていると、時系列比較でおかしく判断してしまいかねません。
- 資金繰りが厳しいサプライヤーから、支払サイトを短くしてくれないかなどの依頼があり、対応策を検討する必要があるかもしれません。また、どうしても重要なサプライヤーには、資本参加による資金提供も考えざるを得ないのかもしれません。
- ①健全性、②安全性、③短期的な支払能力などの具体的な数値基準(閾値)はありますか。
  - ・ネット検索いただくとガイドラインが出てきますので、どうか検索して参考にしてください。
  - ・借入金月商比率を見ておくと借金のレベルがわかります。
- 短期的に突然死するサプライヤーの識別については、こういう影響が来ているので危ないのではないかの想像力を契機に見ていくのも重要ではないでしょうか。(貸借対照表(B/S)は、一定期間の状態を表しているものなので)。
  - ・やっぱりサプライヤー経営陣との密なコミュニケーションで感じ取るのも重要ではないか。
  - ・実際に採られてきた手順として
    - 1). 周囲の同業サプライヤーや業界の情報・噂などの先行情報を収集する
    - 2). それをもって、サプライヤーの社長なりに聞くことことが重要なのではないのでしょうか。そして、これができる人間関係をサプライヤー経営者と作っておくことが重要かと思っています。
  - ・現場を見る、経営者と直接会う(コロナ禍で今は困難もあるが)が良いのではないか
  - ・中小規模の企業であれば、現場に行けば見渡せて、操業度がわかり、社員の雰囲気・活気がわかる...そこから感じ取ることが重要です。
- ・直近の手元資金の状況を確認すべきです。それから、サプライヤーさんの財務部長が逃げ出したら、かなり深刻だと思ってください。
- ・財産(右下の資本)は中小企業は随意に調整しやすいことにも留意しておくべきです。
- ・主要取引銀行が地方銀行(地場)の場合は、倒産してしまうと自行の信用にも関わるので、倒産を指せない方向で動く傾向があります。取引銀行も倒産しやすさの目安になります。
- ・仕入先へのジャンプ(支払期限を少し伸ばしてくれとの依頼)の噂が出ているところも危ないです。